

令和5年度
玉城町社会福祉協議会
事業報告書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

社会福祉法人 玉城町社会福祉協議会

目 次

1. 法人運営	
(1) 法人運営の経営体制の強化	1
(2) 会員制度等の推進	7
(3) 社会福祉協議会の役割や活動周知	7
(4) 役員・職員等の資質向上研修の取り組み	7
(5) 各種関係機関・団体との連携強化	7
2. 地域福祉事業の推進	
(1) 身近な地域で福祉サービスを楽しむ地域づくり（老人福祉活動事業）	10
(2) 積極的に社会参加できる環境づくり（福祉育成・援助活動事業）	12
(3) ボランティア活動と福祉教育の推進（ボランティア活動育成事業）	14
(4) 障がい者の自立と社会参加の促進（障がい児・者福祉活動事業）	17
3. 相談・援助事業の推進	
(1) 福祉相談機能の充実強化	18
(2) 低所得者世帯の生活安定事業	18
(3) 福祉サービス利用に関する相談援助事業	19
4. 受託事業の運営	
(1) バス事業（研修バス・福祉バス・元気バス・すまいるバス）	19
(2) 各種福祉団体事業の運営	21
(3) ICTふるさと元気事業の運営	21
(4) 高齢者等交通安全対策事業	21
(5) 生活支援コーディネーター事業	22
(6) 災害ボランティアセンター事業	22
5. 募金活動の推進	
(1) 日本赤十字社募金と地域福祉活動	22
(2) 共同募金と歳末助け合い活動	22
(3) 赤い羽根共同募金 募金百貨店プロジェクト	23
(4) 災害義援への協力及び活動	23
6. 在宅福祉事業の運営	
(1) 介護保険事業の推進と実績	23
(2) 障害者支援事業の取り組みと実績	24
(3) 移送サービス支援事業	24
7. 地域住民からのニーズ事業実施	
(1) シルバー人材センター事業	25

令和5年度の事業報告

**理念：笑顔広がる 人づくり 地域づくり
つながりづくり の実現に向けて**

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後、経済・社会活動の制限が緩和され、当会の活動は地域福祉活動をはじめ、高齢者、障がい者支援事業ともに復調の兆しが見えてきました。そのため、早期にそれぞれの事業活動において制限緩和後の対応に取り組んできました。

法人事務局は、ボランティア活動への支援や元気ですたまき委員会による地域福祉活動への積極的な参加を行ってきました。とくに社会福祉大会や元気ですたまきまつりの再開は大きな意義があります。

高齢者介護では、居宅介護支援事業、訪問介護事業で職員を増やし利用者拡大と加算の取得に取り組んできました。

障がい者支援事業では、生活介護、相談支援事業において職員配置換えにより資質向上に取り組んできました。

このほか、最低賃金の改定やインボイスの導入も行き、職員一丸となって積極的かつ効果的に事業を実践し、皆様からの信頼をより強固なものにするため「つながりを絶やさない！」活動を続けてきました。

1. 法人運営

(1) 法人運営の経営体制の強化

①理事会

	開催日	議 題	
第1回 理事9名 監事2名	5月23日	議案第1号	令和4年度玉城町社会福祉協議会事業報告の承認について
		議案第2号	令和4年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計決算の承認について
		議案第3号	令和4年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計決算の承認について
		議案第4号	令和4年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計決算の承認について
		議案第5号	第1回評議員会の開催について
		議案第6号	評議員の解任及び評議員選任候補者の推薦について
		議案第7号	評議員選任・解任委員会の開催について
		議案第8号	玉城町シルバー人材センター運営に関する規程の一部改正(案)について
第2回 理事8名 監事2名	6月20日	議案第9号	会長副会長の選任について
第3回 理事8名 監事2名	11月24日	報告第1号	専決処分について(正規職員給与規程の一部改正について)
		報告第2号	専決処分について(臨時職員給与規程の一部改正について)
		報告第3号	令和5年度玉城町社会福祉協議会事業中間報告について
		報告第4号	令和5年度玉城町社会福祉協議会収支状況中間報告について

		議案第10号	評議員の解任及び評議員選任候補者の推薦について
		議案第11号	令和5年度第2回評議員選任・解任委員会の開催について
		議案第12号	令和5年度第2回評議員会の開催について
第4回 理事8名 監事2名	3月18日	議案第13号	玉城町シルバー人材センター運営に関する規程の一部改正(案)について
		議案第14号	令和5年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計補正予算(第1号)(案)について
		議案第15号	令和5年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計補正予算(第1号)(案)について
		議案第16号	令和5年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計補正予算(第1号)(案)について
		議案第17号	令和6年度玉城町社会福祉協議会事業計画(案)について
		議案第18号	令和6年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計予算(案)について
		議案第19号	令和6年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計予算(案)について
		議案第20号	令和6年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計予算(案)について
		議案第21号	理事候補者の推薦について
		議案第22号	令和5年度第3回評議員会の開催(案)について

②評議員会

	開催日	議 題	
第1回 評議員13名 理事1名	6月20日	議案第1号	令和4年度玉城町社会福祉協議会事業報告の承認について
		議案第2号	令和4年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計決算の承認について
		議案第3号	令和4年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計決算の承認について
		議案第4号	令和4年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計決算の承認について
		議案第5号	理事及び監事の選任について
		議案第6号	玉城町シルバー人材センター運営に関する規程の一部改正(案)について
第2回 評議員13名 理事1名	12月19日	報告第1号	専決処分について(正規職員給与規程の一部改正について)
		報告第2号	専決処分について(臨時職員給与規程の一部改正について)
		報告第3号	令和5年度玉城町社会福祉協議会事業中間報告について
		報告第4号	令和5年度玉城町社会福祉協議会収支状況中間報告について

第3回 評議員14名 理事1名	3月29日	議案第7号	玉城町シルバー人材センター運営に関する規程の一部改正（案）について
		議案第8号	令和5年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計補正予算（第1号）（案）について
		議案第9号	令和5年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計補正予算（第1号）（案）について
		議案第10号	令和5年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計補正予算（第1号）（案）について
		議案第11号	令和6年度玉城町社会福祉協議会事業計画（案）について
		議案第12号	令和6年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計予算（案）について
		議案第13号	令和6年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計予算（案）について
		議案第14号	令和6年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計予算（案）について
		議案第15号	理事の選任について

③監事会

	開催日	議 題
第1回 監事2名	5月15日	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度玉城町社会福祉協議会事業報告について 令和4年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計決算の監査について 令和4年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計決算の監査について 令和4年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計決算の監査について
第2回 監事2名	11月9日	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度玉城町社会福祉協議会中間監査について

④評議員選任解任委員会

第1回 委員5名	6月20日	議案第1号 評議員の解任・選任について
第2回 委員5名	12月1日	議案第2号 評議員の解任・選任について

⑤主任会議 毎月1回開催

健全な経営基盤を確立し、住民に効果的・効率的なサービスを提供するため、主任以上の職員を対象に開催。財務、人事、事業に関してさまざまな検討を行いました。また、主任会議の前に必要に応じて局長、次長、係長（2名）による「定例会議」を開催し、具体的な戦略や方向性を定めていくよう努めています。

	開催日	議 題
第1回	4月13日	<ul style="list-style-type: none"> 理事会・評議員会報告について 事業シートの作成について 令和4年度決算資料作成のお願い 人事について 運営規定について 職員健康診断について 処遇改善手当について ゴールデンウィークの営業について

		<ul style="list-style-type: none"> ・機密文章破棄について
第2回	5月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・社協決算監査について ・令和5年度社協会費（職員対象）のお願い ・夏季における職員の健康管理について ・時間外手当削減について ・元気ですたまきまつりについて ・令和4年度研修会・会議出席状況表入力について ・有給休暇届について ・ドライブレコーダーについて
第3回	6月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・R4年度決算を終えての推移について ・元気ですたまきまつりの報告について ・一時金（賞与）について ・会館出口の一旦停止について
第4回	7月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・職員健康診断結果について ・業務改善について ・人事異動について ・感染予防・虐待防止・ハラスメント防止に関する指針及び職員啓発について ・制服支給について
第5回	8月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・体調管理について ・健康診断結果について ・社協職員としての行動について
第6回	9月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・赤い羽根共同募金について ・社協会費増強運動について ・人事について ・最低賃金改正について
第7回	10月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザ予防接種について ・欠食分の職員買取について ・年末調整について ・人事異動について ・身体拘束等の適正化のための指針について
第8回	11月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・社協定期監査結果報告について ・年末年始休業について ・R6年度「元気ですたまきまつり」について ・R4事業所シート中間評価について ・12月賞与について ・親睦会より ・館内合同避難訓練について
第9回	12月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事納め式及び仕事始め式について ・職員辞令交付（定昇）について ・人事について ・R5年度「玉城町社会福祉大会」について ・主任グループラインについて
第10回	1月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度「玉城町社会福祉大会」について ・インフルエンザ予防接種助成金について ・面談（臨時・パート）について
第11回	2月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・職員面談結果について ・理事会、評議員会について ・人事について ・能登半島地震災害について ・ジョイワークについて
第12回	3月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会、評議員会について ・人事について ・元気ですたまきまつりについて ・自己評価について ・R5事業所シート評価について

⑥虐待防止委員会及び身体拘束等適正化委員会

第1回	2月8日	・当会「高齢者・障がい者の虐待防止に関する指針」・「身体拘束等の適正化の為の指針」の内容確認 ・虐待の主な種類や例・身体拘束に該当する具体的な行為の確認 ・「虐待・身体拘束チェック」、「不適切ケアチェック表」の活用
-----	------	---

(2) 会員制度等の推進

①社会福祉協議会会員の加入促進及び地域福祉活動費への協力 (単位：円)

会員区分	年度	R 3		R 4		R 5	
		会員口数	会費	会員口数	会費	会員口数	会費
個人会員	300円/口	2,266口	687,000円	2,003口	609,700円	2,144口	655,200円
団体会員	5,000円/口	35口	185,000円	45口	225,000円	48口	240,000円
賛助会員	10,000円/口	8口	80,000円	7口	70,000円	9口	90,000円
計		2,309口	952,000円	2,055口	904,700円	2,201口	985,200円

※端数金額が含まれているため口数と金額が相違します。

②寄附金 (単位：円)

年 度	R 3	R 4	R 5
金 額	741,492	1,031,037	653,053

(3) 社会福祉協議会の役割や活動周知

地域福祉の担い手として行政との連携の元、ともに住民にサービスを提供し、さらに行政には出来ないインフォーマルな立場で住民等との関わりを補完的に担っています。また、社協の力が福祉力、地域力となるよう心がけて、行政とより密接に協力し合っ

①普及宣伝

- ・広報「たまき社協だより」発行
年4回予定（今年度発行：5月No.86 8月No.87 11月No.88 2月No.89）
各4,900部 町広報に挟み込み。
- ・ホームページの活用
- ・YouTubeの活用 7本 公開済み
- ・ブログ・フェイスブックの活用
- ・防災無線での呼びかけ

(4) 役員・職員等の資質向上研修の取り組み

地域福祉サービスの充実や職員教育の一環として、事業別・業種別の研修も従来の対面型に戻る中で、引き続きオンラインによる有効的な機会を捉え受講しています。

(5) 各種関係機関・団体との連携強化

各関係団体との連携、ネットワーク構築は、地域福祉の推進者として社会福祉法に位置づけられた社協にとって中心的な活動といえます。福祉5団体活動は独自の活動においても、町及び教育委員会等と連携の元、積極的に事業に参加、協力、支援を行い、他市町との連携もうまく取れています。このほか、オンラインによるものも継続して行われ効率的に行われています。

① 民生委員児童委員協議会活動

令和4年12月1日改選。民生委員・児童委員33名のところ31名（2名欠員）、主任児童委員2名で運用しています。

- ・役員会（毎月最終水曜日）定例会事項検討を中心に、重要事項の事前協議を行う。

	開催日	内 容
第1回	4月26日 10名	「自筆証書遺言書保管制度」及び「相続登録の義務化」について 活動費の支払いについて
第2回	5月31日 10名	田丸城跡クリーン作戦（6月3日開催）について ポロシャツの購入について
第3回	6月28日 10名	認知症の人への接し方 主任児童委員研修会の報告

第4回	7月26日 9名	地域共生室の機能について 敬老祝い金について
第5回	8月30日 8名	第5回定例会開催の是非について 敬老祝い金について 7/11(月)～12(火) 県民生委員協議会会長研修会の報告
第6回	9月27日 8名	コミュニティコーピングについて 敬老祝い金について 玉城町避難行動要支援者制度について 歳末まごころ訪問について 等
第7回	10月25日 10名	「歳末まごころ訪問」について 活動費の支払いについて
第8回	11月29日 9名	玉城町権利擁護推進研修会について 「歳末まごころ訪問」の支払いについて
第9回	12月27日 9名	令和5年度玉城町社会福祉大会について 令和5年度三重県民生委員児童委員ブロック研修会について
第10回	1月31日 8名	令和6年度能登半島地震災害義援金のお願い 町内小学校・中学校の卒業式・入学式の日程について 三重県における民生委員制度創設100周年フォーラムについて
第11回	2月28日 9名	令和6年度事業計画(案)について 元気ですたまきまつりについて
第12回	3月27日 9名	民生委員児童委員の日について(5月12～18日) 元気ですたまきまつりについて

・定例会(毎月第1水曜日)

各委員が交代で事例発表や意見交換をはじめ、専門部会、地区部会なども行い、情報交換の場となる。

	開催日	内 容
第1回	4月19日 32名	民生委員児童委員の日について(5月12日～18日) 元気ですたまきまつりについて 等
第2回	5月17日 32名	「自筆証書遺言書保管制度」及び「相続登記の義務化」について 令和5年度社会福祉協議会会費について 活動費の支払いについて 等
第3回	6月7日 32名	元気ですたまきまつりについて 田丸城址クリーン作戦について 等
第4回	7月5日 33名	民生委員の交代について(原地区) 認知症の人への接し方 主任児童委員研修の報告及び、会長研修の報告 等
第5回	8月2日 32名	地域共生室の機能について 敬老祝い金について 等
第6回	9月6日 31名	敬老祝い金について 玉城町避難行動要支援者制度について 赤い羽根共同募金 街頭募金について
第7回	10月4日 33名	コミュニティコーピングについて 「秋の田丸城跡クリーン作戦」について 赤い羽根共同募金 街頭募金の報告について
第8回	11月1日 32名	「歳末まごころ訪問」について 活動費支払について
第9回	12月6日 32名	民生委員の交代について(荒子・伊勢団地) 玉城町権利擁護推進研修会について
第10回	1月10日 32名	「歳末まごころ訪問」の報告について(387名中184名) 令和5年度玉城町社会福祉大会について 令和5年度三重県民生委員児童委員ブロック研修会について
第11回	2月7日 31名	令和6年度能登半島地震災害義援金のお願いについて 町内小学校・中学校の卒業式・入学式の日程について
第12回	3月6日 31名	令和6年度事業計画(案)について 元気ですたまきまつりについて

- ・毎月、定例会の中で部会ミーティング（高齢者・身障・児童部会）を開催
- ・なんでも相談 毎月10・30日の相談員として担当
- ・下校時安全パトロール 各学校区ごとに毎月1回以上実施
- ・毎月第3火曜日に社協職員、あいさつ人と共に町内小中学校であいさつ運動に参加する。
- ・独居見守り活動として、絵手紙を希望する独居老人に対し、絵手紙を持参し訪問・安否・見守りを行う。

・ 総会・研修会等

開催日	研修名	参加者数
4月19日	令和5年度玉城町民生委員児童委員協議会総会	32名
6月20日	令和5年度 第1回南勢志摩ブロック主任児童委員研修	2名
6月28日～29日	令和5年度 三重県単位民生委員児童委員協議会会長研修	1名
11月14日	令和5年度 三重県主任児童委員研修会	2名
2月8日	令和5年度 第2回南勢志摩ブロック主任児童委員研修	2名
3月14日	令和5年度 ブロック研修会	26名
3月21日	三重県における民生委員制度創設100周年記念フォーラム	19名

② 福祉団体活動

(単位：人、円)

団体名	会員数	主な事業	町補助金
玉城町老人クラブ連合会	1,503	5月 町老人クラブ役員会 6月 町老人クラブ理事会 (書面決議) 10月 町老人クラブ理事会 町ゲートボール大会 12月 町カラーリング大会 2月 郡カラーリング大会 3月 郡老人クラブ代表者会議 町老人クラブ役員会	1,000,000
玉城町障がい者福社会	31	5月 町身体障害者福社会役員会 6月 町身体障害者福社会役員会 9月 三重県障がい者生活安全事業 10月 三重県障がい者相談員等研修会 12月 三重県障がい者芸術文化祭 3月 町身体障害者福社会役員会	0
玉城町遺族会	236	4月 町遺族会役員会 5月 町遺族会理事会 10月 玉城町戦没者追悼式 秋季慰霊祭 三重県護国神社 郡遺族会レクレーション 3月 町遺族会役員会	350,000
玉城町母子寡婦福社会	26	4月 理事会 6月 総会(書面決議) 6月 元気ですたまきまつり 6月 理事会 6月 度会郡母子寡婦福社会役員会 6月 度会郡母子寡婦福祉大会 (度会・書面決議) 7月 三重県母子寡婦福祉連合会研修会 10月 度会郡母子寡婦福社会役員会 11月 交流事業 みかん狩り 11月 三重県母子寡婦福祉大会 12月 度会郡母子寡婦福社会役員会 2月 交流事業 いちご狩り 3月 度会郡母子寡婦福社会役員会 ※毎月、福社会館の草取り奉仕作業を実施	130,000
玉城町手をつなぐ親の会	14	4月 世界自閉症啓発デー 啓発活動 6月 役員会・総会 6月 玉城町社協評議員会 8月 第1回ちよっとネット会議 9月 玉城町権利擁護推進員委員会	40,000

	10月	定例会	
	11月	施設見学	
	11月	ちよつとネット会議（ボッチャ）	
	1月	役員会	
	1月	玉城町権利擁護推進研修会	
	2月	第22回玉城町社会福祉大会	
	2月	玉城町自立支援協議会本会議	
	2月	いちご狩り・研修会	
	3月	玉城町権利擁護推進員委員会	
	3月	ちよつとネット会議（ボッチャ）	
	※暮らし部会に参加※福祉会館草刈り作業実施		
	合計		1,520,000

③ 町や事業所間の連携

- ・ 防災意識の向上・醸成にボランティアが連携協力
- ・ 生活困窮者支援体制強化のため、町及び県社会福祉協議会と連携協力
- ・ 学校、各種団体等からの研修派遣要請に協力

2. 地域福祉事業の推進

共同募金配分金を財源に活用した様々な事業です。

(1) 身近な地域で福祉サービスを楽しむ地域づくり（老人福祉活動事業）

人と人とのつながりに基づく地域生活に着目し、すべての地域住民一人ひとりの自立した生活が可能となるよう、個別の援助とそれに連動した地域の福祉活動に対する支援を積極的に行う事業です。

① サロン事業の支援と推進

地域の方々がボランティアスタッフになり、閉じこもりになりがちな高齢者の気兼ねな集いの場を設置。地域の支え合いにより介護予防や災害時などの支援にもつながる事業といえます。

○ いきいきサロン栄町（毎月第4水曜日：栄町公民館）（H17.2開始）（単位：人）

年度	R 3	R 4	R 5
平均人数	15	0	22

※新型コロナウイルスの影響により、活動中止中だったが令和6年3月に再開する。

○ サロン玉城苑（毎月第3木曜日：玉城苑集会所）（H17年11開始）（単位：人）

年度	R 3	R 4	R 5
平均人数	0	0	0

※新型コロナウイルスの影響により、活動中止中。

○ ふれあいサロン（毎月第3水曜日：大手クラブ）（H18.2開始）

年度	R 3	R 4	R 5
平均人数	0	0	0

※新型コロナウイルスの影響により、活動中止中。

○ 万年青の会（毎週月曜日：下田辺公民館）（H21.2開始） 中国健康体操

年度	R 3	R 4	R 5
平均人数	9	9	10

○ 勝田町いきいきサロン（毎月第2水曜日：勝田町公民館）（H21.9開始）

年度	R 3	R 4	R 5
平均人数	18	0	15

※新型コロナウイルスの影響により中止していましたが、令和5年6月より再開。

○ おふろサロン（毎週月・水・金曜日開催）

参加料：1回150円、回数券（8枚綴）1,000円（H22.4開始）

年度	R 3	R 4	R 5
登録人数	13	7	7
利用人数	5	6	5
利用延べ人数	350	391	305

② ほのぼの便（安否確認）

ボランティア（ゆずりは会）により毎月絵手紙を作成。民生児童委員と連携し毎月独居高齢者へ配達し、安否見守り活動に効果を上げています。

（単位：人）

年度	R 3	R 4	R 5
平均利用人数	106	100	85

③ 歳末援護事業（歳末まごころ訪問事業）

75歳以上の一人暮らしの方を対象に希望者へ、12月30日に民生委員のご協力のもと安否確認を予定しています。

（単位：人）

年度	R 3	R 4	R 5
利用人数	168	182	184

④ ぴんの会

独居高齢者支援事業として地域包括支援センターと協働。平成23年2月設置。会食を中心に高齢者同士の集いの場としている。（令和3年度10月から完全受託業務）

（単位：人）

年度	R 3	R 4	R 5
開催回数	7	12	12
平均参加人数	19	19	18

⑤ 給食サービス

概ね65歳以上の一人暮らしの方を対象に希望者へ毎月第1・3日曜日に昼食を届けています。ボランティア虹の会がふれあい型の活動として運営。事業費は共同募金が原資のため無料で提供していましたが、平成24年度から利用料（1回200円）を徴収、これを地域福祉費から充当しています。

（令和4年度9月から年齢65歳に改正）

新型コロナウイルスの影響で虹の会の活動が7月～8月は自粛となりましたが、業者に委託し切れ目なく支援を継続しています。

（単位：人）

年度	R 3	R 4	R 5
回数	23	23	23
平均配達人数	34	29	31
延べ人数（配食数）	785	656	718

⑥ 配食サービス

平成30年4月から、町から受託。概ね65歳以上の一人暮らしの高齢者及び高齢者のみの世帯等へ、毎月第2・4・5日曜日に昼食を届けています。配食は業者委託で、利用料は1回200円です。

（単位：人）

年度	R 3	R 4	R 5
回数	28	28	29
平均配達人数	37	29	26
延べ人数（配食数）	1,026	810	756

⑦ 楽笑会（らくしょうかい）

平成24年度から地域型のおたのしみ会として、閉じこもりがちな高齢者の地域参加の場を学校区単位で行い、地域の世代を超えた交流によってコミュニケーションを図っています。今年度は下外城田地区のみ行いました。

【対象小学生の人数】

（単位：人）

年度	R 3	R 4	R 5
下外城田	18(15)	19(31)	15(37)
有田	32(38)	-	-
外城田	46(50)	-	-
田丸	72(131)	-	-

※（ ）内は、対象高齢者人数

⑧ 備えトコ

平成25年度からの継続事業で、災害予防対策として災害弱者である75歳以上のお一人暮らしの方を対象に防災啓発グッズを配布し、災害に対する自動的意識の向上を目的としています。3年に一度見直しを行い、民生児童委員に配布を依頼しています。

年度	R 3	R 4	R 5
配布人数	233	民協改選の為、中止	内容を再検討

(2) 積極的に社会参加できる環境づくり（福祉育成・援助活動事業）

地域のすべての住民を対象に、社会福祉への理解と関心を高め、社会参加、社会連帯の精神を養うとともに、地域内における福祉教育の実践及び学習を通じ、地域の福祉力向上を目指す事業です。

① 元気ですたまき事業

・委員会の運営

平成20年に発足以来、令和2年度から第3期目スタート。任期5年。現在委員10人。アドバイザーに椋山女学園大学 助教 田村禎章氏を置いています。第3期地域ふくし力向上計画を中心に、住民課題を住民目線で共に考え解決に導いています。

	開催日	内 容
第1回	4月26日 10名	活動報告について（田丸城跡でお花見） 元気ですたまきまつりについて あいさつ運動のうたについて 今年度計画について
第2回	5月31日 8名	元気ですたまきまつりについて あいさつ運動のうたについて 担い手講座について
第3回	6月28日 10名	活動報告について（元気ですたまきまつり） 福祉の標語（テーマ決めについて） あいさつ運動のうたについて しあわせスタンプラリーについて
第4回	7月26日 8名	コミュニティコーピング 福祉の標語について 真夏の夜の祭典について あいさつ運動について
第5回	8月30日 9名	活動報告について（真夏の夜の祭典について） しあわせスタンプラリーについて たまきつなぐる博覧会について あいさつ運動のうたYouTube撮影について

第6回	9月27日 10名	活動報告について（あいさつ運動のうたYouTube放映） しあわせスタンプラリーについて たまきつなぐる博覧会について
第7回	10月25日 6名	しあわせスタンプラリーについて たまきつなぐる博覧会について 地域福祉座談会について
第8回	11月29日 7名	しあわせスタンプラリーについて 地域福祉座談会について 福祉の標語について
第9回	12月20日 9名	福祉の標語について 地域福祉座談会について 玉城町社会福祉大会について
第10回	1月24日 9名	親睦会
第11回	2月28日 9名	楽笑会について 玉城町社会福祉大会について みんなでワーク
第12回	3月27日 7名	あいさつ運動について 元気ですたまきまつりについて みんなでワーク

- ・ あいさつ運動(明るく声かけ玉城の日)
平成22年1月から毎月第3火曜日の早朝、田丸駅、小中学校、保育所等であいさつ運動を展開し住民同士の絆づくりの一助となっています。
活動は、委員はじめあいさつ人、民生児童委員、社協職員など。引き続き、田丸駅では、青少年を育てる会の啓発活動も毎月一緒に行い、町内障害者施設の職員・利用者や一般の方も場所によっては、参加いただいています。
8月15日は、高温等を考慮し中止しました。
将来的な福祉教育の視点から、子どもたちへの働きかけは継続的に行っていきたいと考えています。

(単位：人)

年度	R 3	R 4	R 5
参加人数	279(8回)	330 (10回)	414 (11回)

- ・ 第16回 元気ですたまきまつりの開催
日時：6月4日（日） 10：00～14：00
場所：玉城町保健福祉会館
参加者：1,000人
テーマ：新しいたまきの和 ふくしの輪
内容： 広く住民の方に福祉の啓発、また地域活動の交流の場として開催。
コロナウイルスの影響にて4年ぶりの開催になりました。4年前と比べると全体的に来訪者が少なかったですが、コロナ禍の中、団体43、スタッフ300人が参加し福祉の祭典も無事終了しました。天候にも恵まれ、音楽ステージ、講演会等も好評でした。
今後も福祉の啓発に努めて、住民の方々が参加しやすい、より良い福祉のイベントになるように努めていきます。
- ・ 元気ですたまき推進事業（オリジナル体操）
元気ですたまきのオリジナル体操は、町のイメージソングと共に平成18年度に誕生。体操として、保育所、学校で活用されるようになっており、一般には桜まつり、アスピア玉城まつり、町民体育祭、民生児童委員活動など幅広く使われています。さらに、サロン活動や健康しあわせ委員の活動において健康づくりとして、地域の活動に取り入れられ、定着しています。

しかしながら新型コロナウイルス感染症の影響により、町内各種イベントが相次いで中止しており、出向いての推進はできませんでしたが、YouTubeを活用し、自宅でもできる健康体操として、動画を公開し推進しています。

・「福祉の標語」募集

昨年度は“あなたの大切な人”をテーマに募集しました。今年度は”笑顔（えがお）”をテーマに募集しました。健康しあわせ委員会、青少年を育てる会と協働で選考し、優秀作品の表彰を玉城町社会福祉大会で行いました。

② 地域福祉活動計画の策定と運用

地域福祉計画の活動計画の一部に位置付けた「地域ふくし力向上計画」も第3期目となり、令和2年度から6年までの5か年計画として策定し運営しています。新型コロナウイルス感染拡大もあり、4年度には一部改訂をしています。

③ 福祉用具等貸出事業

車いす等福祉用具に関わる貸出事業を行っています。
対象（社協会員になっている人、団体）

車いす貸出状況

(単位：件)

年度	R 3	R 4	R 5
件数	41	38	39

備品貸出し状況（送風機、綿菓子機、かき氷機、高齢者疑似体験セットなど）

年度	R 3	R 4	R 5
件数	11	12	11

④ 集いの場創生事業

「地域ふくし力向上計画」に掲載。

元気ですたまき委員などが中心となった「おせつkaiたまき」の活動は若者支援として位置付けています。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止いたしました。

(3) ボランティア活動及び福祉教育の推進（ボランティア活動育成事業）

ボランティアに関する相談・斡旋、ボランティア養成・交流講座を実施し、ボランティアの育成や団体及び個人の自主的活動を支援します。

イ) ボランティアの養成、登録者の拡充と活動支援

① ボランティアセンター活動の充実

・ ボランティアセンター会議の開催

開催日	内容	参加団体数
5月18日	第1回 ①ボランティア活動カレンダーについて ②今年度センター事業について ③助成金の交付について ほか	8
3月8日	第2回 ①各団体の活動状況の情報共有 ②今年度センター事業報告について ③来年度助成金の交付申請について ほか	9

・ ボランティア団体への支援（13団体）

(単位：人・円)

団体名	会員数	主な事業	助成金
玉城町虹の会	38	一人暮らし高齢者への給食サービスや「夢工房」でのお手伝い。町内施設、イベント時の支援や町内美化運動など	50,000
おもちゃ病院	7	おもちゃの修理を行う。 毎月第2土曜日開院。	25,000

はな♪はな♪おはなし会	15	町保健福祉会館、町内保育所、田丸小学校での定期的な絵本・紙芝居の読み語りほか。	10,000
マジックふらわあ	1	各行事へ参加してのマジックの展示 保育所や福祉施設への訪問 ほか	5,000
絵手紙サークル ゆずりは会	11	月1回定期開催（勉強会・絵手紙作成） 民生委員児童委員が安否確認時にお持ちする絵手紙を作成、町内イベントへの参加 ほか	25,000
玉城語り部会	12	町内観光のボランティアガイド 歴史的文化財の探索調査 など	0
サポーター「さくら」	87	認知症サポーターの育成 介護施設行事への参加 など	0
青色回転灯パトロールボランティア	7	住民の方の安全安心をより確かなものとするため 町内をパトロール（教育委員会事業）	0
玉城町食生活改善推進協議会	46	栄養、健康づくり講習会・保健事業への協力・栄養改善大会への参加・健康体操	0
健康しあわせ委員会	41	健康づくり普及啓発	0
玉城町民生委員児童委員協議会	32	民生児童委員活動	0
玉城町防災ボランティア	22	防災の啓発（防災体験、防災講座など） 災害支援活動	0
参宮ブランド擬革紙の会	17	擬革紙の製作	0
延べ	336	R4 362人	合計 115,000

② ふれあい福祉サービス（ちょこっと有償ボランティア）

日常のちょっとした困りごとに登録ボランティアが支援を行っています。利用料はチケットにより清算。買い物やごみ出しなどのニーズが中心となっています。

年度	R 3	R 4	R 5
利用者実人数	6	3	3
利用回数	324	195	261

④ イベントボランティアの募集

イベント型のボランティア活動。登録いただいた方には町内の地域貢献活動等の案内をおこない、活動へのきっかけ作りを行います。

年度	R 3	R 4	R 5
登録人数	22	22	22

ロ) 児童生徒の福祉意識の高揚

① 福祉体験教室の開催

子どもたちの福祉に対する基本知識の習得と、体験や地域住民との交流を通して考える機会とし、思いやりの気持ちを更に育てていくことを目的に例年開催していますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の防止のため中止しました。

② 福祉協力校の育成及び活動への助成

児童・生徒の社会福祉への理解を深め、地域とのつながりや社会参加の精神を養うとともに、児童・生徒の活動を通して家庭及び地域社会の啓発を図ります。また、協力校（全校）の教員との連絡会は今年度は開催せず、各学校に直接出向き、本事業についての説明（社協会費の充当など）を行い、助成金の交付を行いました。

福祉協力校 活動への助成

(単位：人・円)

学校/児童生徒数	金額	(計画) 主なもの
玉城中学校 453人	95,000	生徒会主催による玉城ボランティア活動（TVS活動）を実施し、環境美化運動を中心に活動を行う 福祉講演会の実施
外城田小学校 222人	70,000	訪問事業・・・園芸委員会で育てた花の苗を「桜の里」へプレゼントしての交流や、JAや交番、児童館に花のプランターをプレゼントする
田丸小学校 372人	87,000	学校行事招待 ・・・ボランティアさんありがとう集会の実施 訪問事業・・・「楽笑会」に障がいの方を招待し交流
有田小学校 176人	67,600	有田保育所の子どもたちとの交流 車いす体験などの福祉体験教室 居住地校交流
下外城田小学校 104人	60,400	独居老人との交流 特別支援学校との交流 防災ボランティアを招いての防災体験教室
合計	380,000	

③ 児童生徒の福祉参画促進

児童・生徒が地域福祉活動へ参画するためのきっかけづくりを支援しています。夏休みを利用した福祉体験教室は新型コロナウイルスの影響で開催できませんでしたが、福祉の作文の募集は行いました。

また、「楽笑会」などの、地域の方々と集まる活動は難しい状況ですが、一定の距離を保ちつつ接点を持った活動の展開、またそこからの住民意識や地域愛の向上を図り、「ふくしの心」の育みに努めていきたいと考えています。

- ・「楽笑会」 2. 地域福祉事業の推進
(2-(1)-⑦)に同じ

- ・福祉教育（出前講座）
小中学校からの依頼を受け、各種体験学習を団体等と連携して実施します。

内容	実施日	学校/生徒数	連携団体
福祉講話 車いす体験	9月15日	下外城田小学校 4年 17名	なし
	10月26日	有田小学校 4年 34名	なし
	12月5日	外城田小学校 4年 34名	なし
防災体験	6月27日	田丸小学校 3年 72名	玉城町防災ボランティア 行政
	10月24日	外城田小学校 4年 34名	玉城町防災ボランティア 行政
	11月10日	下外城田小学校 4年 17名	玉城町防災ボランティア 行政
	11月14日	外城田小学校 3年 34名	玉城町防災ボランティア

	11月30日	有田小学校 4年 35名	玉城町防災ボランティア 行政
	12月4日	外城田小学校 6年 38名	玉城町防災ボランティア 行政
	2月2日	田丸小学校 4年 67名	玉城町防災ボランティア 行政
防災講座	11月10日	玉城中学校 2年 158名	三重大学
タウン ウォッチング	9月4日	田丸小学校 5年 50名	玉城町防災ボランティア
	9月11日	田丸小学校 5年 50名	玉城町防災ボランティア
	11月21日	下外城田小学校 3年 15名	玉城町防災ボランティア
避難所 運営ゲーム体験	2月16日	有田小学校 6年 31名	玉城町防災ボランティア
手話体験	5月25日	有田小学校 手話クラブ 19名	手話っちカフェ
	9月29日	外城田小学校 4年 17名	手話っちカフェ
ボッチャ体験	11月13日	外城田小学校 3年 32名	三重県障がい者スポーツ 支援センター 人権擁護委員

合計 18件

・「地域福祉座談会」

玉城町のまちづくりをテーマに小・中学校と地域住民を対象に行った。小学生は越知ひとみ校長の事前授業（テーマ：誰もが安心して元気に暮らせる町を目指して）、中学生は身障者就労センター上々の当事者の話を代表の学生だけでなく、対象学年すべての学生が受講した。地域福祉座談会は下記の日程で開催しました。

日時：令和5年11月28日(火)

対象：町内小学校5年生、玉城中学校2年生、地域住民

講師：(小学生)玉城わかば学園 越知ひとみ校長

(中学生)身障者就労センター上々

ハ) ふくし共有活動への参画

①地域福祉座談会

(2-(3)-(ロ)-③)に同じ

②防災ボランティア

住民の災害に対する意識啓発を図ります。

・定例会の開催 12回(毎月第2木曜日)

・そのほかの活動

みえ防災大賞への応募(みえ防災大賞を受賞)

福祉協力校での防災体験(新聞紙でのスリッパづくりや、簡易トイレの設置体験など)

(4) 障がい者の自立と社会参加の促進(障がい児・者福祉活動事業)

障がい者の生活を豊かにするため、障がいのある人もない人も対等な立場で様々な分野の社会活動に参加できるよう、環境づくりに努めています。

- ・ はっぴいサークル
町内に住む特別支援学級または特別支援学校在籍の小・中・高校生とはっぴい卒業者（18歳以上）、障がい者等を対象に地域の人と共に考え、共に過ごす機会と場の提供を行います。（ライブスペース勢の！Inたまき開催時に開催）
令和5年度は新型コロナウイルスの影響のため開催されておりません。
- ・ シップスハーモニー&はっぴいサークル
以前より活動されているグループ、シップスハーモニーが玉城町内でサークル活動ができるように支援します。（令和2年度から玉城社協協賛、協賛後、初の開催が令和5年10月29日に実施されました。その後、令和6年2月4日に開催されました。）
- ・ たまりんピック2023
玉城町の事業所を利用している障がい者が一堂に会し、レクリエーションを通して交流を深めています。
例年5月頃に開催していましたが、今年度も新型コロナウイルスの影響のため、感染の拡大状況を鑑みて中止になりました。
令和6年度は7月20（土）に開催予定

(単位：人)

年度	R 3	R 4	R 5
参加人数	中止	中止	中止

- ・ 手話っちカフェ
手話に関心のある方、障がいのある方が、気軽に集って、手話に触れることで、障がいについての理解を深めます。

(単位：人)

年度	R 3	R 4	R 5
参加人数	21(2回)	56(5回)	115(12回)

3. 相談・援助事業

(1) 福祉相談機能の充実強化

民生委員・行政相談委員・人権擁護委員による相談窓口を「なんでも相談」として開催しています。

10日 民生委員児童委員・人権擁護委員

30日 民生委員児童委員・行政相談員（5月・10月は行政相談員2名）

(単位：件)

年度	R 3	R 4	R 5
相談件数	6	9	4

(内訳：心身障がい者（児）福祉1件、苦情1件、生計1件、その他1件)

- ・ 窓口総合相談（ボランティア含む）

(単位：件)

年度	R 3	R 4	R 5
相談件数	27	22	21

(内訳：生計4件、家族6件、老人福祉2件、苦情4件、その他5件)

(2) 低所得者世帯の生活安定事業

生活福祉資金及び町世帯更生資金の有効活用を図り、低所得者世帯の生活安定と福祉向上に努めています。

本会は、町単独事業として独自の更生資金の貸し付けを行っていますが、県社協において、低所得者や失業者等の生活再建に向けたセーフティネット、継続的な相談支援、生活費及び一時的な資金の貸付けを行う生活福祉資金貸付が行われているため、こちらを優先して支援相談に応じています。

令和2年3月25日より新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて貸付の対象世帯を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により生活資金でお悩みの方々に向けた生活福祉資金貸付の特例貸付が実施されました（令和4年9月30日申請受付終了）。また玉城町として感染症の影響で生活に困窮する世帯に対して町世帯更生資金貸付の返済の免除が実施されました。

・貸付相談数 (単位：件)

年度	R 3	R 4	R 5
件数	22	10	7

・令和5年度 貸付状況

①生活福祉資金 (単位：件)

総合支援資金	福祉資金	教育支援資金	不動産担保型生活資金	計
42	44	0	0	86

うち特例措置分 令和5年度 総合39件、福祉35件 (償還免除9件)
令和4年度 総合44件、福祉51件 (償還免除19件)

②町世帯更生資金

更生資金	生活資金	住宅資金	就学資金	災害援助資金	療養資金	計
0	6	0	0	0	0	6

年度内実績 (R5 新規3件 償還済2件 滞納3件)

(3) 福祉サービス利用に関する相談援助事業

日常生活を営むうえで支障がある方に対し、福祉サービスの利用に関する相談・助言や手続き・支払い等の援助を行っています。

① 日常生活自立支援事業

県社協が事業主体となり平成23年度からは県内のすべての市社協が基幹的社協として専門員を、町社協には推進員、支援員を配置し支援しています。平成27年4月から事業の名称が「日常生活自立支援事業」に変更となりました。また、平成31年度から、全市町社協実施方式に移管し、『玉城町日常生活自立支援センター』が設置され専門員、改めて支援員が配置されました。

(単位：人・回)

年度	R 3	R 4	R 5
利用人数	14	14	15
延べ支援回数	115	128	85
支援員数	1	1	1

② 生活困窮者自立支援事業

生活保護に至らないように自立支援対策強化を図るため、福祉事務所設置自治体は生活困窮者の相談に応じ、個々人の状態にあった必要な支援を講じる「自立相談支援事業」の実施が平成27年4月から必須となり、このため三重県は多気町を除く各町に対しても県社会福祉協議会に委託し自立相談支援センターの設置と各町社会福祉協議会との連携により支援しています。生活福祉資金貸付事業との連携により特例貸付希望者へも自立相談支援事業所の紹介をしています。

このほか、同センターは任意事業である「家計相談支援事業」(家計に関する個別のプラン作成、助言)の支援も行っています。

(単位：人・世帯)

年度	R 3	R 4	R 5
自立相談支援事業	29	6	6
家計相談支援事業	0	0	0
就労支援事業	0	0	0

4. 受託事業の運営

(1) バス事業

① 研修バス

町のバスを使用して町事業はじめ、児童福祉、高齢者福祉、教育委員会の社会教育事業活動に研修バスとして委託運行しています。町内無料。町外23円/kmを利用者負担。

・ 依頼者別状況

依頼者	総務政策	税務住民	保健福祉	上下水道	建設	産業振興
依頼件数	8	1	11	0	0	2

議会	教育	病院老健	社協	各種団体	合計
1	88	0	12	8	131

※各種団体：社協所管 5 福祉団体及び民生児童委員協議会

・ 年度別依頼状況

(単位：件)

年度	R 3	R 4	R 5
件数	67	106	131

② 福祉バス

高齢者、身体障害者等交通弱者の移動手段の確保と生活支援を目的とする委託運行バスです。

【福祉バス】

平成23年1月からは小俣図書館との1日2便（令和元年8月は4便）の運行。

・ 年度別利用状況

(単位：人)

年度	R 3	R 4	R 5
利用人数	70	72	53

内訳 町内 50人
町外 3人

令和5年4月1日より町外者からのアスピア玉城利用者や小俣図書館への利用者減少のため、また、現下の状況から土日祝日運休。毎週、月曜・木曜日の運行。

【元気バス】

高齢者を中心とする交通弱者の町内移動手段

令和5年度の状況：

登録者数：2,033人

登録者性別

男性： 673人 33.1%

女性：1,360人 66.9%

登録者年代別

65歳未満： 30.7%

65～69歳： 2.5%

70～74歳： 5.7%

75～79歳： 9.2%

80～84歳： 15.1%

85歳以上： 36.8%

利用者数：延べ 10,283人

1日平均延べ利用者数：57人

・ 運行概要

デマンド方式、運賃無料。

10人乗りワゴン車 平日3台（水曜日のみ2台）。土日祝日は1台体制。

9時から17時運行、年末年始のみ運休

・ 令和5年度利用状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9
人数	1,675	1,668	1,937	1,755	1,555	1,693
月	10	11	12	1	2	3
人数	1,875	1,654	1,640	1,410	1,370	1,489

R5総計	19,721
------	--------

・ 年度別利用状況

(単位：人)

年度	R 3	R 4	R 5
利用人数	17,723	20,660	19,721

・ 予約ツール状況

(単位：%)

年度	R 3	R 4	R 5
外部予約	16.1	22.1	26.4
オペレーター	83.9	77.9	73.6

【すまいるバス】

介護予防事業に係る移動支援バス。

・令和5年度利用状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	
人数	0	0	0	0	0	0	
月	10	11	12	1	2	3	R5総計
人数	0	0	0	0	0	0	0

・年度別利用状況

(単位：人)

年度	R3	R4	R5
利用人数	42	14	0

火・水・金曜日に利用の多い介護予防事業への参加者をすまいるバスに一部移行し、元気バスの利用枠を拡大しています。

(2) 各種福祉団体事業の運営

民生委員児童委員協議会をはじめ、福祉5団体（老人クラブ連合会、身体障害者福祉会、遺族会、母子寡婦福祉会、手をつなぐ親の会）を運営しています。

内容 [(1 - (5))]参照

(3) ICTふるさと元気事業の運営

元気バスの運行は、新型コロナウイルス感染拡大による利用者の減少から回復の基調が見えてきています。

本年度第9期介護保険事業計画の改訂に係るアンケートから、元気バス開設当初と比較すると、運転免許証の保有者の増、他の支援の必要性が減るなど、様々な要因により生活者支援となる視点での利用者は明らかに減少していることが分かっています。引き続き東京大学大学院との共同研究では、「オンデマンド交通実証実験と高齢者の移動データ分析に基づく運行改善に関する研究」をテーマに分析を行っています。

また、合わせて国土交通省の視察を受け、後期高齢者医療費の抑制効果が現状にも見られるか、令和6年度検証意向も示されました。

・取材視察者への対応など

来所：7月10日・25日 玉城中学校 3人
 (Web コンテンツ取材のため)
 9月22日 中瀬信之県議会議員
 3月14日 国土交通省モビリティサービス推進課 3人
 電話によるもの：
 8月16日 埼玉県北本市くらし安全課
 インターンシップ研修：
 8月15日 東京大学 3人 皇学館大学 5人

(4) 高齢者等交通安全対策事業

平成29年度より、町からの受託事業として、玉城町区域内における高齢者などの交通の安全に関し、総合的な施策を推進し、交通事故の防止を図ることを目的に、高齢者等の免許返納申請の支援を行っています。

年度	R3	R4	R5
免許返納バス利用者	8人	6人	13人
免許返納手続き支援	14回	0回	0回

※免許返納手続き支援は、認知症など介助応援支援（契約先たまきあい）を指します。

(5) 生活支援コーディネーター事業

令和3年度新規事業として受託。安心して地域で暮らすことができるよう地域課題の抽出や発掘に取り組んでいます。

・ 元気づくり会への訪問

年度	R 3	R 4	R 5
訪問件数	33回	38回	35回

・ 地域ケア会議への参画

玉城町介護保険推進協議会のワーキンググループとして、個別課題の解決、ネットワーク構築、地域課題の発見、地域づくり・資源開発、地域課題を解決するための政策の形成等の機能を持つ協議体へ参画しています。

・ 一芸展覧会の開催

昔に作成した作品が家に眠っているという方を対象に、保健福祉会館のロビーにて月替わりで作品の展示を行いました。
一芸展覧会は参加者の社会参加の場になっています。

4月	5月	6月	7月	8月	9月
押し花	木目込み	擬革紙	写真	水彩画	油絵
10月	11月	12月	1月	2月	3月
油絵	習字	つまみ細工	あみもの	刺繍	ちぎり絵

(6) 玉城町災害ボランティアセンター事業

玉城町災害ボランティアセンターは、被災時、玉城町災害対策本部と連携して玉城町社会福祉協議会が中心となって開設し、ボランティアをはじめとする関係団体等と協働して運営していくことを活動の主な目的としています。

災害の規模、種別に応じて臨機応変かつ円滑に活動を行うために協力者の人材育、防災意識の向上を目的とした研修会の開催や防災ボランティアが行うHUG（避難所運営ゲーム）への支援を行う等、平時からも防災の取り組みを行い、玉城町の防災力を高める活動も行っています。

5. 募金活動の推進

(1) 日本赤十字社募金と地域福祉活動

日本赤十字社の活動は、地震や台風などの自然災害等が発生した際に、救護班を現地に派遣する「災害救護活動」、血液製剤の安定供給・国内自給の確保を目的とした「血液事業」など、多岐にわたっています。

当町においても、町内住宅火災時等に災害救援物資の配布、災害死亡弔慰金の支給を行っています。また、毎年5月は、全国一斉に赤十字社員増強運動が実施され、運動期間中は、赤十字思想の普及、赤十字社員組織の拡充と社資（寄付金）協力への呼びかけを行っています。（当町は、寄付金協力をお願いしています）

・ 年度別寄付金額

(単位：円)

年度	R 3	R 4	R 5
金額	1,408,400	1,355,400	1,288,600

(2) 共同募金と歳末助け合い活動

社会福祉法で位置付けられた「共同募金」は、きめ細かく創意に満ちた福祉活動を行う民間社会福祉事業の財政的支援として大きな期待が寄せられており、広く協力を呼びかけ、毎年10月赤い羽根の募金としてなじみ深いものです。寄せられた募金は、地域のさまざまな福祉活動や福祉施設の充実、ボランティア活動を支えるためなどに役立っています。（「2. 地域福祉事業の推進」各事業に充当されま

す。)

- ・ 年度別寄付金額（共同募金）（単位：円）

年度	R 3	R 4	R 5
金額	1,394,343	1,463,905	1,327,057

- ・ 年度別寄付金額（歳末助け合い）（単位：円）

年度	R 3	R 4	R 5
金額	115,300	124,875	138,510

(3) 赤い羽根共同募金 募金百貨店プロジェクト

地域で活動している企業等の皆様に地域のためになる募金百貨店プロジェクトに参加していただくことによって、日常生活と社会貢献をつなぐ「企業～地域住民～共同募金」の新たな関係構築を目指すものです。

協力企業：ふとんのはしもと 22,670円
 有限会社 桜の里（5月29日調印締結）

(4) 災害義援への協力及び活動

国内・国外で起きた自然災害に対し、災害義援金の募集・受付を行っています。

- ・ 令和6年能登半島地震災害義援金
 個人、区、自主防災の方々から445,438円の義援金をお預かりし、日本赤十字社三重県支部にお送りしました。

6. 在宅福祉事業の運営

(1) 介護保険事業の推進と実績

① 居宅介護支援事業

- ・ 令和5年度利用状況(予防を含む)（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	143	151	156	146	149	150	153	150	155	152	156	156	1,817

130 13 139 12 145 11 135 11 140 9 141 9 144 9 141 9 146 9 143 9 147 9 147 9

- ・ 年度別利用状況（単位：人）

年度	R 3	R 4	R 5
利用人数	1,757	1,766	1,817

② 通所介護支援事業

- ・ 令和5年度利用状況（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	723	809	796	793	856	823	817	812	795	758	761	802	9,545
一日平均	28	30	30.5	30.4	32	31.8	31.4	32.4	31.4	30	30.1	30.8	31

- ・ 年度別利用状況（単位：人）

年度	R 3	R 4	R 5
利用人数	9,448	8,996	9,545

③ 訪問介護支援事業

- ・ 令和5年度利用状況（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	274	306	300	300	294	350	355	355	356	325	325	356	3,896
一日平均	12.2	13	13.4	12.5	12.3	16.3	15	15.3	15	12.7	13.7	15.5	14

- ・ 年度別利用状況（単位：人）

年度	R 3	R 4	R 5
利用人数	3,587	3,112	3,896

(2) 障害者支援事業の取り組みと実績

① 生活介護事業 夢工房たまき

・ 令和5年度通所状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	213	199	187	186	191	180	197	182	174	171	182	182	2,244
一日平均	10.7	8.65	8.5	8.86	8.68	8.18	8.57	8.27	7.57	8.14	9.58	8.27	

・ 年度別利用状況

(単位：人)

年度	R 3	R 4	R 5
利用人数	2,319	2,456	2,244

・ 生活支援

排泄、食事、入浴、送迎等の支援等

・ 生活訓練及び創作活動

さをり織り・リサイクル活動・さをりマグネット・歩行運動・軽運動・レクリエーション

生活実習

買い物・外食・観賞

(買い物、外出につきましては、新型コロナウイルスの影響により実施せず)

地域交流

ボランティアの受け入れ、環境保全会等への参加活動、小学生との交流

(地域交流につきましては、令和5年度は実績なし)

② 相談支援事業 みらい (平成27年2月事業所開所)

・ 令和5年度相談(一般・障がい児)新規支援状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	16	11	12	13	12	8	9	12	9	16	12	11	141

・ 令和5年度モニタリング(一般・障がい児)継続支援状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	27	33	24	25	23	20	20	14	18	21	22	23	270

・ 年度別支援

(単位：人)

年度	R 3	R 4	R 5
利用人数	439	427	411

③ ホームヘルプサービス

・ 令和5年度利用状況(障がい者)

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	42	40	44	39	35	41	54	48	55	45	48	52	543

・ 年度別利用状況

(単位：人)

年度	R 3	R 4	R 5
利用人数	362	338	543

(3) 移送サービス支援事業

① 福祉有償運送事業

・ 令和5年度利用状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	14	17	25	18	20	18	21	12	23	6	10	11	195

・ 年度別利用状況

(単位：人)

年度	R 3	R 4	R 5
利用人数	435	328	195

7. 地域住民からのニーズ事業の実施

(1) シルバー人材センター事業

・ 会員数の状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
男子	127	128	130	130	130	130	130	130	131	131	132	131
女子	75	76	76	77	77	77	77	77	77	77	77	79
人数	202	204	206	207	207	207	207	207	208	208	209	210

・ 作業件数

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	41	50	52	71	66	68	72	62	59	37	39	47	664

・ 契約金額

(単位：円)

年度	R3	R4	R5
金額	57,386,874	55,188,566	56,636,465